令和５年度　看護実践研究委員会　活動計画

■活動目標	１．県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数・発表者数の維持・増加を目指す。 ２．コロナ禍での看護実践研究会のあり方を企画、検討する。 ３．看護職者の研究力をサポートする。（査読、発表資料など） ４．査読の方法を統一する。 ５．投稿規定の見直しを行う。
■開催予定	６回
■活動事業	令和５年度看護実践研究会の開催とそれに向けた企画委員会の開催 １．看護実践研究会の概要 開催時期：令和５年11月23日 対象者：県内の看護職者 開催テーマ：「何だろう！どうしてなんだろう！看護の疑問を探求しよう！」 教育講演：テーマ　検討中 講師：竹原歩　氏（はりま姫路総合医療センター） ２．看護実践研究会を企画する。（定例会議で下記の事項を検討・決定する） ・演題および一般参加の募集要項について ・演題および一般参加の再募集について ・当日のプログラム、運営スケジュール、係員必携 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法を検討する。（感染者数の動向をふまえ、開催基準等の検討） ・集録の内容、構成について ・令和６年度　特別企画教育講演の検討（テーマ、講師、内容） ・看護学生の応募枠枠を開設 ３．査読を通して研究および実践報告活動を支援する。 ・応募演題の査読および採否決定 査読基準に従って、発表成果につながるサポートを行う。 発表スライドの添削によりサポート体制の拡大については検討していく。 委員の査読内容に意義があった場合の対応などについて検討する。 ・看護実践研究院会としてどのような研究サポートができるか検討する。 看護研究に関するマニュアル（抄録の構成、パワーポイント原稿の体裁など）を見直して、マニュアルに沿った形で抄録が提出されるように検討する。 ４．看護実践研究会を開催する。 ・研究会参加者を対象に看護実践研究会についてアンケート調査を行う。 ・令和６年度特別教育講演の検討（テーマ、講師、内容）を行う。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法について評価する。（感染者数の動向を踏まえ、開催基準・方法等の検討） ・集録の内容、構成について検討する。